

一般教養科目	科目(人間・情報工学部門)		研究指導	
	必修科目	選択科目(下記の科目群から選択)	主指導教員	副指導教員
M1 前期	経営工学特別講義I 文献研究及び研究実験	人間工学特論	指導・副指導教員の決定 研究テーマの決定	研究主指導
		認知人間工学特論		
		情報システム工学特論		
M1 後期	経営工学特別講義I 文献研究及び研究実験	情報工学特論	研究主指導	助言
		計算機工学特論		
		情報伝送特論		
M2 前期	経営工学特別講義II 経営工学研究	通信工学特論	修士論文中間審査	修士論文の作成
		高度化学理論特論		
		非線形ダイナミカルシステム特論		
M2 後期	経営工学特別講義II 経営工学研究	複雑ネットワーク特論	修士論文発表	本審査及び最終試験
		画像メディア処理特論		
		並列コンピューティング特論		

【修了要件】
 修士課程においては、経営工学専攻所定の期間在学し、経営工学に携わる研究者、技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、研究課題を自ら発見し、解決する能力を持った人材を育成するために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。

注:大学院共通教育プログラムにおいて、英語、コミュニケーション、倫理、環境などの教養科目が開講されている。積極的な履修が望ましい。



【修了後の進路】
 自動車、重電機、製鉄、通信機、家電・電子機器メーカーなど(設計、開発、研究、生産技術などの職種)
 情報通信、ソフトウェア、鉄道、電力、ガス、シンクタンク、総合研究所など(主に情報系職種)
 国家公務員、地方公務員

一般教養科目	科目(システム数理工学部門)		研究指導	
	必修科目	選択科目(下記の科目群から選択)	主指導教員	副指導教員
M1 前期	経営工学特別講義I 文献研究及び研究実験	実験計画法特論	指導・副指導教員の決定 研究テーマの決定	研究主指導
		データ解析特論		
		情報管理特論		
M1 後期	経営工学特別講義I 文献研究及び研究実験	数理統計学特論	研究主指導	助言
		多変量解析特論		
		経営意思決定特論		
M2 前期	経営工学特別講義II 経営工学研究	経営性工学特論	修士論文中間審査	修士論文の作成
		経営組織特論		
		生産管理特論		
M2 後期	経営工学特別講義II 経営工学研究	安全および持続性工学	修士論文発表	本審査及び最終試験
		技術開発特論		
		時系列解析特論		

【修了要件】
 修士課程においては、経営工学専攻所定の期間在学し、経営工学に携わる研究者、技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、研究課題を自ら発見し、解決する能力を持った人材を育成するために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。

注:大学院共通教育プログラムにおいて、英語、コミュニケーション、倫理、環境などの教養科目が開講されている。積極的な履修が望ましい。



【修了後の進路】
 自動車、重電機、製鉄、通信機、家電・電子機器メーカーなど(設計、開発、研究、生産技術などの職種)
 情報通信、ソフトウェア、鉄道、電力、ガス、シンクタンク、総合研究所など(主に情報系職種)
 国家公務員、地方公務員

一般教養科目	科目(医薬統計部門)		研究指導	
	必修科目	選択科目(下記の科目群から選択)	主指導教員	副指導教員
M1 前期	経営工学特別講義I 文献研究及び研究実験	漸近理論	指導・副指導教員の決定 研究テーマの決定	研究主指導
		応用カテゴリーカル解析法		
		生存時間解析法		
M1 後期	経営工学特別講義I 文献研究及び研究実験	混合モデルとベイズ流解析法	研究主指導	助言
		応用線形代数		
		線形推測論		
M2 前期	経営工学特別講義II 経営工学研究	確率・統計計算演習	修士論文中間審査	修士論文の作成
		薬物動態学		
		医薬審査・業務行政論		
M2 後期	経営工学特別講義II 経営工学研究	経営工学特別演習	修士論文発表	本審査及び最終試験
		学術発表		
		修士論文の作成		

【修了要件】
 修士課程においては、経営工学専攻所定の期間在学し、経営工学に携わる研究者、技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、研究課題を自ら発見し、解決する能力を持った人材を育成するために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。

注:大学院共通教育プログラムにおいて、英語、コミュニケーション、倫理、環境などの教養科目が開講されている。積極的な履修が望ましい。



【修了後の進路】
 自動車、重電機、製鉄、通信機、家電・電子機器メーカーなど(設計、開発、研究、生産技術などの職種)
 情報通信、ソフトウェア、鉄道、電力、ガス、シンクタンク、総合研究所など(主に情報系職種)
 国家公務員、地方公務員